



## 2024年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月15日

上場会社名 北海道中央バス株式会社  
コード番号 9085 URL <https://www.chuo-bus.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二階堂 恭仁  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 安田 徹  
定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月26日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 札

TEL 0134-24-1111

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	33,838	1.2	1,169	139.4	1,463	86.1	941	60.5
2023年3月期	33,442	20.2	488		785		586	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2024年3月期	359.72		3.6	4.0	3.5
2023年3月期	224.07		2.3	2.3	1.5

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 23百万円 2023年3月期 16百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2024年3月期	37,150	27,844	73.7	10,461.09
2023年3月期	35,539	26,084	72.2	9,801.51

(参考) 自己資本 2024年3月期 27,370百万円 2023年3月期 25,646百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	3,365	1,552	119	9,327
2023年3月期	2,173	632	74	7,633

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2024年3月期				40.00	40.00	115	17.9	0.4
2025年3月期(予想)				40.00	40.00	115	11.1	0.4

(注)2025年3月期の配当予想については、未定としております。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	35,650	5.4	700	40.1	850	41.9	450	52.2	171.99

(注)第2四半期連結累計期間の業績予想は行ってありません。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	3,146,000 株	2023年3月期	3,146,000 株
期末自己株式数	2024年3月期	529,581 株	2023年3月期	529,450 株
期中平均株式数	2024年3月期	2,616,466 株	2023年3月期	2,616,694 株

(参考)個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	19,130	1.6	309	120.6	596	77.1	364	59.3
2023年3月期	18,838	20.4	140		336		229	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	125.91	
2023年3月期	79.04	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	28,643	20,372	71.1	7,029.95
2023年3月期	27,322	19,543	71.5	6,743.85

(参考) 自己資本 2024年3月期 20,372百万円 2023年3月期 19,543百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中、緩やかに回復しました。道内の経済においては、観光需要や個人消費が増加しました。

一方では、原材料価格の上昇や深刻な人手不足など、依然として不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当連結会計年度の業績は、売上高は33,838百万円（前連結会計年度比1.2%増）、営業利益は1,169百万円（同139.4%増）、経常利益は1,463百万円（同86.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は941百万円（同60.5%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 旅客自動車運送事業

旅客自動車運送事業は、輸送需要が回復傾向にありますが、コロナ禍前まで戻っておりません。

乗合運送事業は、都市間高速バスにおいては、2023年12月1日に運賃改定を実施しました。また、電子回数券の導入を拡大し、利便性の向上を図りました。

2023年12月1日のダイヤ改正においては、人員不足のため、札幌圏を中心に路線の短縮化、廃止、減便など、過去最大規模の路線見直しを実施しました。

貸切運送事業は、一般団体の受注が増加しました。

この結果、運送収入は、前連結会計年度に比べて6.9%の増収となりましたが、路線補助金においては、前連結会計年度に多額のコロナ禍による特別な路線補助金が含まれていたこともあり、旅客自動車運送事業全体として、売上高は18,574百万円（前連結会計年度比1.4%増）、営業利益は247百万円（同262.8%増）となりました。

#### ② 建設業

建設業は、道内の公共投資や民間設備投資が増加する中、受注高は増加しましたが、完成工事高が減少しました。

この結果、売上高は10,270百万円（前連結会計年度比1.0%減）、外注費の減少などにより営業利益は366百万円（同114.0%増）となりました。

#### ③ 清掃業・警備業

清掃業・警備業は、新規物件を受注したことなどにより増収となりました。

この結果、売上高は3,428百万円（前連結会計年度比4.3%増）、営業利益は118百万円（同0.9%増）となりました。

#### ④ 不動産事業

不動産事業は、前連結会計年度並みの売上高を確保しました。

この結果、売上高は775百万円（前連結会計年度比0.1%減）、営業利益は297百万円（同0.0%増）となりました。

#### ⑤ 観光関連事業

観光関連事業は、全国旅行支援などの施策もあり、観光需要が回復しております。

ニセコアンヌプリ国際スキー場は、外国人利用客が大きく増加しました。そのような中、リフト料金を改定するとともに、レストラン事業を直営化しました。

小樽天狗山スキー場は、外国人観光客の回復や、小樽天狗山のメディア露出効果もあり、利用客が増加しました。

ニセコ温泉郷「いこいの湯宿いろは」は、旅行支援事業への参加や外国人宿泊客の増加などにより利用客が増加しました。そのような中、宿泊料金を改定するとともに、飲食メニューを拡充しました。

砂川ハイウェイオアシス館は、前述の観光需要の回復施策の下で、団体客の受入や集客イベントの開催などにより利用客が増加しました。

ワイン&カフェレストラン「小樽バイン」は、スタッフ増員による営業体制の強化や、新メニューの提供を行いました。

旅行業は、町長がガイドを務める地域と連携したツアーなどを実施し、増収に努めました。

この結果、観光関連事業全体として、売上高は2,449百万円（前連結会計年度比43.0%増）、営業利益は183百万円（前連結会計年度は106百万円の営業損失）となりました。

#### ⑥ その他の事業

物品販売業は、商品の取扱いが増加しました。自動車教習所は、入校生が増加しました。介護福祉事業は、入居者が減少しました。

この結果、売上高は2,332百万円（前連結会計年度比5.1%増）、25百万円の営業損失（前連結会計年度は34百万

円の営業損失)となりました。

(当社グループにおける売上高の季節的変動について)

観光関連事業は、スキー場営業期間の関係で、第4四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

## (2) 当期の財政状態の概況

(資産)

資産合計は37,150百万円(前連結会計年度比4.5%増)となりました。これは、投資有価証券が1,129百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債合計は9,305百万円(前連結会計年度比1.6%減)となりました。これは、支払手形及び買掛金が505百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産合計は27,844百万円(前連結会計年度比6.7%増)となりました。これは、利益剰余金が825百万円増加したこと等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から1,693百万円増加し、9,327百万円(前連結会計年度比22.2%増)となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純利益1,402百万円に減価償却費等を加減した結果、得られた資金は3,365百万円(前連結会計年度比54.9%増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出1,776百万円、有価証券の取得による支出1,701百万円、有価証券の償還による収入2,200百万円があったこと等により、使用した資金は1,552百万円(前連結会計年度比145.3%増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払額が115百万円あったこと等により、使用した資金は119百万円(前連結会計年度比60.5%増)となりました。

## (4) 今後の見通し

次期の連結業績予想につきましては、建設業、観光関連事業などで増収を見込んでいることから、売上高は35,650百万円(前連結会計年度比5.4%増)を見込んでおります。

費用は、建設業で建設工事原価の増加を見込んでいること、旅客自動車運送事業で人件費や修繕費の増加を見込んでいることなどから、営業利益は、700百万円(前連結会計年度比40.1%減)を見込んでおります。

経常利益は850百万円(前連結会計年度比41.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は450百万円(前連結会計年度比52.2%減)を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,808,477	7,652,216
受取手形、売掛金及び契約資産	5,118,795	4,167,885
有価証券	2,040,099	2,500,000
商品	52,959	22,472
原材料及び貯蔵品	153,200	187,247
未成工事支出金	79,940	43,453
その他	235,995	259,516
貸倒引当金	△4,887	△3,675
流動資産合計	14,484,581	14,829,116
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,754,706	21,005,623
減価償却累計額	△16,414,543	△16,717,340
建物及び構築物（純額）	4,340,162	4,288,282
機械及び装置	3,122,540	3,275,824
減価償却累計額	△2,753,609	△2,784,276
機械及び装置（純額）	368,930	491,547
車両運搬具	27,336,135	26,202,109
減価償却累計額	△24,500,028	△24,120,770
車両運搬具（純額）	2,836,107	2,081,338
工具、器具及び備品	1,721,727	1,793,194
減価償却累計額	△1,512,304	△1,548,063
工具、器具及び備品（純額）	209,422	245,130
土地	9,687,251	9,772,983
建設仮勘定	—	685,384
有形固定資産合計	17,441,874	17,564,667
無形固定資産	134,507	154,255
投資その他の資産		
投資有価証券	3,068,210	4,197,401
長期貸付金	28,074	11,122
長期前払費用	20,831	27,935
繰延税金資産	157,019	152,981
その他	224,352	219,404
貸倒引当金	△20,431	△6,408
投資その他の資産合計	3,478,057	4,602,438
固定資産合計	21,054,440	22,321,361
資産合計	35,539,021	37,150,477

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,423,602	1,917,923
未払費用	445,065	448,931
未払消費税等	350,409	426,039
未払法人税等	203,624	277,530
前受金	692,738	666,689
賞与引当金	218,967	230,655
完成工事補償引当金	5,000	4,601
工事損失引当金	—	613
災害損失引当金	43,123	—
設備関係支払手形	177,463	—
設備関係未払金	15,259	157,515
その他	911,280	1,001,790
流動負債合計	5,486,534	5,132,290
固定負債		
繰延税金負債	365,220	645,580
退職給付に係る負債	2,646,348	2,494,919
役員退職慰労引当金	329,657	349,491
その他	626,436	683,543
固定負債合計	3,967,662	4,173,534
負債合計	9,454,197	9,305,824
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	759,341	759,341
利益剰余金	24,157,243	24,982,525
自己株式	△1,219,490	△1,219,934
株主資本合計	25,797,094	26,621,933
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188,826	851,710
退職給付に係る調整累計額	△339,776	△103,058
その他の包括利益累計額合計	△150,949	748,652
非支配株主持分	438,679	474,067
純資産合計	26,084,824	27,844,652
負債純資産合計	35,539,021	37,150,477

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高		
旅客自動車運送事業営業収益	18,208,326	18,463,418
完成工事高	9,795,933	9,109,585
その他の事業収益	5,438,620	6,265,486
売上高合計	33,442,879	33,838,490
売上原価		
旅客自動車運送事業営業費	15,170,565	15,259,102
完成工事原価	8,913,369	7,935,348
その他の事業売上原価	5,872,913	6,271,498
売上原価合計	29,956,849	29,465,948
売上総利益	3,486,030	4,372,541
販売費及び一般管理費	2,997,602	3,203,127
営業利益	488,427	1,169,414
営業外収益		
受取利息	11,157	14,162
受取配当金	64,663	85,525
助成金収入	149,699	81,473
持分法による投資利益	16,339	23,292
受取補償金	—	33,829
その他	58,768	58,379
営業外収益合計	300,628	296,662
営業外費用		
支払利息	230	282
支払手数料	2,811	2,718
その他	41	6
営業外費用合計	3,083	3,006
経常利益	785,972	1,463,069
特別利益		
固定資産売却益	27,660	56,120
補助金収入	21,248	22,078
投資有価証券売却益	13,017	14,498
受取設備負担金	—	45,338
受取保険金	214,788	—
その他	4,063	6,683
特別利益合計	280,777	144,719
特別損失		
固定資産除売却損	53,321	77,080
固定資産圧縮損	20,362	17,935
減損損失	32,106	110,373
その他	7,595	149
特別損失合計	113,386	205,539
税金等調整前当期純利益	953,364	1,402,249
法人税、住民税及び事業税	238,496	385,565
法人税等調整額	97,952	39,934
法人税等合計	336,449	425,500
当期純利益	616,914	976,748
非支配株主に帰属する当期純利益	30,589	35,545
親会社株主に帰属する当期純利益	586,325	941,203



## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	616,914	976,748
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82,871	585,531
退職給付に係る調整額	56,254	236,717
持分法適用会社に対する持分相当額	21,080	78,294
その他の包括利益合計	160,206	900,544
包括利益	777,121	1,877,292
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	746,395	1,840,805
非支配株主に係る包括利益	30,725	36,487

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,100,000	759,341	23,643,377	△1,218,306	25,284,412
当期変動額					
剰余金の配当			△72,459		△72,459
親会社株主に帰属する当期純利益			586,325		586,325
自己株式の取得				△1,183	△1,183
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	513,865	△1,183	512,681
当期末残高	2,100,000	759,341	24,157,243	△1,219,490	25,797,094

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	85,010	△396,031	△311,020	409,054	25,382,446
当期変動額					
剰余金の配当					△72,459
親会社株主に帰属する当期純利益					586,325
自己株式の取得					△1,183
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	103,815	56,254	160,070	29,625	189,696
当期変動額合計	103,815	56,254	160,070	29,625	702,378
当期末残高	188,826	△339,776	△150,949	438,679	26,084,824

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,100,000	759,341	24,157,243	△1,219,490	25,797,094
当期変動額					
剰余金の配当			△115,921		△115,921
親会社株主に帰属する当期純利益			941,203		941,203
自己株式の取得				△444	△444
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	825,282	△444	824,838
当期末残高	2,100,000	759,341	24,982,525	△1,219,934	26,621,933

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	188,826	△339,776	△150,949	438,679	26,084,824
当期変動額					
剰余金の配当					△115,921
親会社株主に帰属する当期純利益					941,203
自己株式の取得					△444
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	662,884	236,717	899,602	35,387	934,989
当期変動額合計	662,884	236,717	899,602	35,387	1,759,827
当期末残高	851,710	△103,058	748,652	474,067	27,844,652

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	953,364	1,402,249
減価償却費	1,585,068	1,499,184
減損損失	32,106	110,373
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	322	△15,234
賞与引当金の増減額 (△は減少)	353	11,688
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,331	90,030
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	857	19,833
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△266,476	△43,123
受取利息及び受取配当金	△75,821	△99,688
支払利息	230	282
持分法による投資損益 (△は益)	△16,339	△23,292
固定資産除却損	53,151	75,256
固定資産売却損益 (△は益)	△27,490	△54,295
投資有価証券売却損益 (△は益)	△12,877	△14,348
補助金収入	△21,248	△22,078
固定資産圧縮損	20,362	17,935
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△1,096,317	950,910
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△58,681	32,927
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	39,406	△55,022
仕入債務の増減額 (△は減少)	718,161	△505,678
未払費用の増減額 (△は減少)	△15,426	3,866
未払消費税等の増減額 (△は減少)	116,460	75,629
前受金の増減額 (△は減少)	53,298	△26,048
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	167,922	90,510
その他	12,693	26,882
小計	2,164,411	3,548,749
利息及び配当金の受取額	76,242	101,020
利息の支払額	△214	△282
法人税等の支払額	△67,068	△283,526
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,173,371	3,365,961
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△308,384	△551,984
定期預金の払戻による収入	337,783	403,184
有価証券の取得による支出	△2,500,242	△1,701,234
有価証券の償還による収入	2,900,000	2,200,000
有形固定資産の取得による支出	△890,637	△1,776,399
有形固定資産の売却による収入	45,226	58,583
無形固定資産の取得による支出	△41,396	△67,608
固定資産取得のための補助金収入	8,654	18,156
投資有価証券の取得による支出	△399,665	△404,032
投資有価証券の売却及び償還による収入	189,528	253,693
貸付けによる支出	△3,247	△3,228
貸付金の回収による収入	2,225	12,259
その他	27,474	6,344
投資活動によるキャッシュ・フロー	△632,680	△1,552,265

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	—	△2,492
自己株式の取得による支出	△1,183	△444
配当金の支払額	△72,459	△115,921
非支配株主への配当金の支払額	△1,100	△1,100
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,743	△119,958
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,465,947	1,693,737
現金及び現金同等物の期首残高	6,167,473	7,633,420
現金及び現金同等物の期末残高	7,633,420	9,327,158

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、乗合旅客自動車運送事業をはじめとする旅客自動車運送事業を基軸に、建設、清掃・警備、不動産、観光など地域に密着した様々な事業を積極的に展開しております。

したがって、当社グループは、事業内容を基礎とした事業の種類別セグメントから構成されており、「旅客自動車運送事業」、「建設業」、「清掃業・警備業」、「不動産事業」、「観光関連事業」及び「その他の事業」の6つを報告セグメントとしております。

報告セグメントにおける各事業区分の事業内容は、次のとおりであります。

- (1) 旅客自動車運送事業……乗合旅客自動車運送事業、貸切旅客自動車運送事業
- (2) 建設業……………土木建築工事の請負及び設計監理
- (3) 清掃業・警備業……………建物施設総合管理、警備保障
- (4) 不動産事業……………土地建物の賃貸、販売及び売買の仲介
- (5) 観光関連事業……………スキー場、ホテル業、観光施設業、旅行業、飲食業
- (6) その他の事業……………公衆浴場業、介護福祉事業、物品販売業、自動車教習所、サービス業（乗車券発売）、情報記録物製造業

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光関連 事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する売上 高	18,208,326	9,795,933	1,883,139	443,305	1,707,857	1,404,317	33,442,879	—	33,442,879
セグメント間の内部売 上高又は振替高	112,650	577,434	1,403,032	332,476	5,152	814,991	3,245,738	△3,245,738	—
計	18,320,976	10,373,368	3,286,171	775,782	1,713,010	2,219,308	36,688,617	△3,245,738	33,442,879
セグメント利益又はセグ メント損失 (△)	68,272	171,397	117,606	297,131	△106,736	△34,318	513,352	△24,924	488,427
セグメント資産	12,558,466	5,158,084	1,368,916	5,098,891	2,548,689	918,967	27,652,015	7,887,006	35,539,021
その他の項目									
減価償却費	1,263,976	30,750	32,082	125,586	127,025	47,294	1,626,716	△41,647	1,585,068
減損損失	437	92	—	7,552	25,057	—	33,139	△1,032	32,106
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	562,004	62,122	31,984	268,045	130,053	47,328	1,101,538	△75,314	1,026,224

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光関連 事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する売上 高	18,463,418	9,109,585	1,950,426	440,737	2,441,300	1,433,022	33,838,490	—	33,838,490
セグメント間の内部売 上高又は振替高	110,733	1,160,526	1,477,870	334,394	8,694	899,194	3,991,413	△3,991,413	—
計	18,574,151	10,270,111	3,428,296	775,131	2,449,994	2,332,216	37,829,903	△3,991,413	33,838,490
セグメント利益又はセグ メント損失 (△)	247,686	366,818	118,684	297,224	183,364	△25,207	1,188,570	△19,155	1,169,414
セグメント資産	12,033,876	4,821,908	1,387,112	6,324,508	2,909,293	965,604	28,442,303	8,708,173	37,150,477
その他の項目									
減価償却費	1,154,133	33,705	30,143	132,125	144,297	49,927	1,544,333	△45,148	1,499,184
減損損失	24,828	69	—	3,672	94,491	—	123,062	△12,688	110,373
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	615,964	69,057	26,553	812,306	315,233	50,325	1,889,441	△86,933	1,802,507

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。
- (2) セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに帰属しない全社資産であります。
- (3) 減価償却費、減損損失の調整額は、未実現損益の調整額であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、未実現損益の調整額であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (1株当たり情報)

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
1株当たり純資産額	10,461.09円
1株当たり当期純利益	359.72円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。	

## (注) 算定上の基礎

## 1. 1株当たり純資産額

項目	当連結会計年度末 (2024年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	27,844,652
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	474,067
(うち非支配株主持分(千円))	(474,067)
普通株式に係る純資産額(千円)	27,370,585
普通株式の発行済株式数(株)	3,146,000
普通株式の自己株式数(株)	529,581
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	2,616,419

## 2. 1株当たり当期純利益

項目	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	941,203
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	941,203
普通株式の期中平均株式数(株)	2,616,466

## (重要な後発事象)

記載すべき事項は、ありません。